

# 原発が戦争のターゲットに！

## ロシアのウクライナ侵攻から見えること

### 「原発を攻撃」に世界が驚愕

2月24日、ロシアはウクライナへの侵攻を開始しました。核兵器の使用もあり得ると脅しつつです。3月4日未明、ロシア軍はウクライナ南部のザポリージャ原発を攻撃。ヨーロッパ最大の原発で、2・3・4号機が稼働していました。停止中の1号機が攻撃を受けましたが、放射能

の漏洩は報じられていません。訓練棟で火災が発生しましたが、その後鎮火しました。

3月9日には、ロシア軍に支配されたチェルノブイリ原発で、冷却電源の途絶が度々報じられました。甚大な核汚染となりかねない危険な事態でした。

### 戦時下の原発の恐怖を実証

幸い現時点ではウクライナの原発に深刻な被害は生じていないようですが、砲弾直撃による原子炉の損傷まで行かなくても、送電線の破壊からも過酷事故は起こります。福島原発事故も送電線の倒壊から始まりました。しかも、戦争中では事故対策も充分にはできないでしょう。

その場合、福島原発の事故を遥かに上回る放射性物質の拡散は必至で、少なくとも半径数百キロに及ぶ被ばくと高濃度の放射能汚染は回避できません。そうなれば、戦争終了後も人が住めない地域が広大に残されるに違いありません。原発は戦火のもとでは、住民への核攻撃の役割を担うことが、ロシアのウクライナ侵攻のもとで明らかになりました。

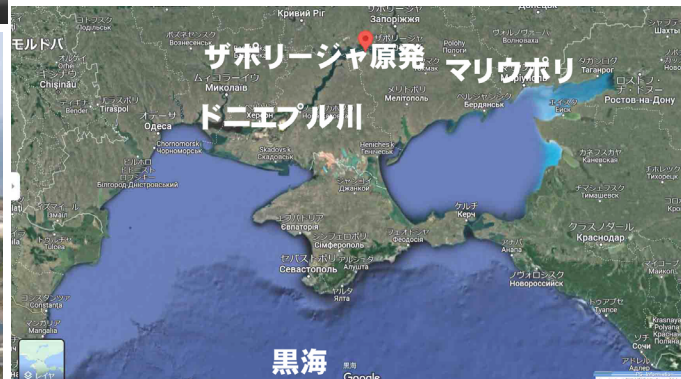
### 内海にある伊方原発の危険性

伊方原発の位置は、全国の原発の中でも唯一内海に位置しています。万一、伊方原発が壊れる、あるいは破壊されるようなことがあれば、中四国・九州・近畿地方などを中心に、膨大な数の住民が被ばくすることになるでしょう。

### 原発をやめ、安全な電力に転換を

日本中に原発が林立する日本。きわめて危険な状態です。再生可能エネルギーとそれを活用する電力網の構築は可能です。原発をとめて廃炉に向かわせましょう。

左：ザポリージャ原発への攻撃を報じた報道と、ザポリージャ原発の外観と地図によるコラージュ



### 伊方原発をとめる会

〒791-8015

松山市中央2丁目 23-1 平岡ビル 201

電話 089-948-9990

ホームページ <http://www.ikata-tomeru.jp>